

平成29年第3回横手市議会6月定例会 一般質問要旨

■ 一般質問の日程

平成29年6月12日（月）～14日（水） 本会議

※午前10時、開会の予定です。

■ 一般質問の順序

期日	順番	議席番号	議員名	質問区分	頁
12 日	1	6番	遠藤忠裕 議員	一括	1
	2	11番	加藤勝義 議員	一括	2
	3	8番	寿松木 孝 議員	一問一答	3
	4	3番	立身万千子 議員	一括	4
13 日	5	1番	高橋和樹 議員	一括	5
	6	7番	土田百合子 議員	一括	6
	7	12番	奥山豊和 議員	一問一答	8
14 日	8	14番	菅原正志 議員	一括	9
	9	10番	青山 豊 議員	一問一答	10
	10	24番	齋藤光司 議員	一問一答	11

※質問区分の説明

- 一括・・・「一括質問一括答弁方式」の質問方法で、議員が質問項目すべてを演壇で一括して質問し、その後、執行部（市長や教育長など）が演壇でその質問項目に対して一括して答弁を行います。再質問は、議員は質問席で行い、執行部は自席で答弁します。
- 一問一答・・・「一問一答方式」の質問方法で、議員は質問席から1つの質問項目ごとに質問し、執行部は自席から答弁を行います。

1. 【6番 遠藤 忠裕 議員】（一括質問一括答弁）

1. 市政運営について

- 1) 地域づくりと地区交流センターについて問う。
- 2) まちづくり、地域づくりを進める組織について問う。
- 3) 防犯対策における小・中学校通学路の防犯カメラ設置等について問う。

2. 【11番 加藤 勝義 議員】（一括質問一括答弁）

1. 公共温泉施設のあり方

- 1) 民間公募結果について所見を伺う。
- 2) 民間譲渡がかなわない施設について、様々な要素を定量化し存廃の最終判断とする具体的内容を伺う。
- 3) 市長は新聞に、「均衡ある発展は温泉以外で取り組む」としたコメントをしている。均衡ある発展の理念を伺う。

2. 地域づくりについて

- 1) 今年度で廃止する地域づくり協議会に配分していた、元気の出る地域づくり事業予算の今後の使途方法と、主体的なまちづくりへの反映方法を伺う。
- 2) 地域づくり協議会の廃止により、協議会の役割だった市長や市の機関から諮問されていた事項の審議や各行政計画の策定の説明など、今後の市民への周知方法を伺う。
- 3) 地域づくり協議会廃止に伴い、地区会議の活動が重要になるが、個々の地域の情報共有はどのように意見集約するのか。そのためには地区会議連絡協議会的組織が必要と思うが所見を伺う。さらに、市全体で開催していた地域づくり協議会委員全体研修会に代わるものの開催を考えているのか伺う。
- 4) 地区会議と地区交流センターの関連について、地区交流センターの中に地区会議を組み入れた体制が望ましいとしているが、地区会議の職員地区担当制度との関連や支援方法を伺う。

3. 【8番 寿松木 孝 議員】（一問一答）

1. 増田地域の重要伝統的建造物群保存地区について

- 1) 保存地区の目指す景観について。
- 2) 電線地中化について。
- 3) 観光客誘致のための施策について。

2. 温泉施設について

- 1) 市が持つ唯一の年間を通して利用できる、えがおの丘のプールだが、閉鎖の方針が示されている。一方では、利用者を中心に存続の陳情書が提出され3月議会で採択となった。このことから、市長は、今後の方針について改めて説明する必要があると思われるがどうか。
- 2) 民間譲渡をするための手続きについて、具体的な手順と考えられる問題点は何か。
- 3) 民間譲渡がかなわなかった施設の今後の運営に対しての考え方について伺う。

3. 市政運営について

- 1) 市の様々なセクションから適時の情報開示がされず、自由な議論を封鎖する動きとも取れる事例が発生しているが、その真意は。

4. 【3番 立身 万千子 議員】（一括質問一括答弁）

「市民にとって利用しやすい地域公共交通にしていくために」

1. 横手市における3種類の地域公共交通の各現状と課題について

- 1) 路線バス
- 2) 循環バス
- 3) デマンドタクシー

2. 地域公共交通活性化協議会について

- 1) 発足までの経緯と現在の状況。特に構成メンバーにおける利用者と運転者の参加はどうか。
- 2) 改正「地域公共交通活性化再生法」で求められている既存路線の見直しや、ダイヤの見直し、更に新たなサービスの導入などを含め、今後の協議会の方向性は。

3. この事業をリードすべき横手市の役割について

- 1) 事業の目的は、あくまでも業者の立場よりも市民の利便性向上である。市役所の組織機構は市民福祉の向上を最優先にしてつくられるべきであり、担当部局がまちづくり推進部から総合政策部に変更した経緯を市民に分かりやすく報告しなければならないと考えるが市長の見解は。
- 2) 市長は所信説明で、デマンド交通の一部事業者による不正事実を「今後、活性化協議会において全容解明に向けた調査が継続される」と報告した。協議会の事務局である横手市はどういう役割を果たすのか。

5. 【1番 高橋 和樹 議員】（一括質問一括答弁）

1. 市長の政治姿勢について

- 1) 市政懇談会の結果と、懇談会から市が得たものについて伺う。

- 2) 市長のマニフェストから、この4年間の総括を伺う。

- 3) 「横手市職員満足度アンケート調査結果」を検証し、今後の人材育成について伺う。

6. 【7番 土田 百合子 議員】（一括質問一括答弁）

1. がん対策について

- 1) 30歳代乳がん検診導入の考えについて。

乳がんは、女性にできるがんの中で一番多く、年間約83,000人が乳がんになり、年間13,000人が乳がんのため亡くなっている。乳がんを早期に発見できれば死亡者数を低下させることにつながると思う。早期発見のために、30歳代乳がん検診の導入の考えについて伺う。

- 2) がん患者「補正具購入費」助成の考えについて。

がん治療による脱毛や手術療法による乳房の切除等の外見の変容がみられた方に対して、精神的・経済的負担の軽減や早期の社会復帰を支援し、療養生活の質の向上につなげるため「医療用ウィッグ(かつら)」や「乳房補正具」助成の考えを伺う。

- 3) がん患者サロンについて。

患者やその家族など、同じ立場の人が、がんのことを気軽に本音で語り合う交流の場となる「がん患者サロン」があればと思うが、当市の考えを伺う。

2. 健康の駅のデータヘルス計画について

- 1) 健康の駅利用者のデータヘルス計画をどのように進めていくのか。例えば、「骨密度測定器」や「高精度体成分測定器」の導入の考えについて伺う。

3. 赤坂総合公園グラウンド・ゴルフ場の整備について

- 1) 平成28年9月議会一般質問の「夏の暑さや、雷雨などから身体を守るための休憩所の設置について」の市長答弁は「多くの皆様から利用されていることから更なる休憩所の設置については必要性を認識しているので、増設の検討をしていく」との答弁であった。その後の検討結果について伺う。

- 2) グラウンド・ゴルフ場の管理棟正面入り口側の整備について。

利用者からは、「駐車場」にどの要望の声があるかどうか。

4. 「書籍消毒機」の導入について

- 1) 書籍についた、ほこりや髪の毛、ダニなどを取り除き、紫外線により除菌を行い、幼児も安心して絵本を手にすることができる「書籍消毒機」の導入の考えを伺う。

5. 市民要望について

- 1) 「雄物川図書館」「十文字図書館」は道路から奥まっているため看板設置が必要である。また、「石坂洋次郎文学記念館」は県外から来た観光客から「わかりづらい」との声が届いていることから看板設置の考えについて伺う。
- 2) 「後三年合戦金沢資料館」「雄物川郷土資料館」は国道と県道に面している。企画展開催時などには、特に道路沿いにその旨の看板を設置しPRすべきである。

7. 【12番 奥山 豊和 議員】（一問一答）

1. 市長の政治姿勢について

- 1) 「増田庁舎オープン・リノベーション事業」によってもたらされた結果責任を、市長はどのように受け止めているか。
- 2) 地域局庁舎に必要な機能のあり方を含めた、今後の市全体の庁舎配置の方向性について。
- 3) 市長は、郷土愛についてどのように考えているか。就任以来掲げてきた「横手愛」とは、具体的に何を目指しているのか。
- 4) 市長は、横手市の優位性をどのように捉え、地方創生を進めようとしているのか。移住対策や交流人口の拡大等、具体的なターゲットや戦略が見えない。
- 5) 平成29年6月1日発行「市報よこて」の特集記事「家族になるということ―結婚―」は、どのような意図、覚悟があつてのものか。
- 6) 横手市財産経営推進計画（FM計画）の必要性、公共温泉施設を民間譲渡する目的など、市民に政策の本質を伝える努力が不足しているのではないか。市民との対話、情報共有、合意形成を図る手法が一方的であることによって、混乱が起きているように感じる。これまで、地元への説明の窓口としてきた地域づくり協議会の廃止を決めているが、今後、市長はどのようにして市民と向き合っていくつもりなのか。

8. 【14番 菅原 正志 議員】（一括質問一括答弁）

1. 「よこてだいすき（横手を学ぶ郷土学）」の発刊について

- 1) 修正点が多く見受けられることについて、原因は何か。また、今後の取り組みにおいてどう生かしていくのか。

2. 横手市財産経営推進計画（FM計画）について

- 1) 年次計画はどうなっているのか。
- 2) 施設における維持・長寿の見極めはどうなっているのか。
- 3) 廃校など遊休施設の有効利用をどのように考えているか。

3. 地域局について

- 1) 地域局機能を今後どのように考えているか。
- 2) 地域局長の権限と責任とは何か。
- 3) 元気の出る地域づくり事業予算に支えられていた地域局事業を来年度以降どう考えるか。

4. 地区交流センター化の進捗状況について

- 1) 社会教育事業と身近な課題解決をどのように進めていくのか。
- 2) 組織づくりはどのように進められていくのか。
- 3) まだ地区交流センター化していない地域の今後をどう考えていくのか。

9. 【10番 青山 豊 議員】（一問一答）

1. 東京オリンピック・パラリンピックに向けた取り組みについて

- 1) 3年後に迫った東京オリンピック・パラリンピックにおける横手市の取り組みについて、目標は何か？どうなれば成功したと言えるのか？改めて伺う。
- 2) 取り組みにおける市民の浸透度と情報発信の核となる「シティセールス2020会議」の位置付けについて伺う。

2. 市職員の人材育成について

- 1) 「横手市人材育成基本方針」が目指す姿に対する現状と課題について伺う。
- 2) 複線型人事制度の今後の展開について伺う。
- 3) 大学の資産を活用した人材育成について伺う。

10. 【24番 齋藤 光司 議員】（一問一答）

1. 公共温泉施設の再編及び民間譲渡計画について

- 1) 計画によると現在、公募申請は終わっているはずであるが、スケジュールは順調に進んでいるのか。計画では5月17日～6月6日までの申請受付であるが、結果として各施設の応募状況はどうだったのか伺う。
- 2) 書類審査、プレゼンテーションとつながっていくわけだが、譲渡後の各施設の経営には市が関与できないわけで、利用者、地域としてはその点を非常に不安視している。現状を大きく変化しない営業・利用形態、利用料金等、期待できるのか。また、市の譲渡審査の中で、その点はどのような位置付けなのか伺う。
- 3) 前回の質問の中でプレゼンテーションの公開は行わないとの答弁をいただいているが、建設費で69億8,609万円を負担している施設の無償譲渡であり、さくら荘の開設経過35年を筆頭に一番新しい雄川荘でさえも12年、歴史とともに歩んできたという、強い地域の思いの込められた施設譲渡でもある。当局も認めている住民説明、利用者説明不足の補完という意味でも、プレゼンテーションの非公開という方針を取り消し、公開で行うのが最善だとの思いから再考すべきと考えるが、改めて市としての考えを伺う。
- 4) 応募の無かった施設は継続可否の議論を踏まえて方向を決めるとの市の方針が示されているが、具体的に継続条件の提示、試行期間、継続可否の判断基準等々どのようなスケジュール内容になっていくのか伺う。
- 5) えがおの丘のプールを、市の体育施設として存続を求める陳情を議会として採択しているが、市長は市政懇談会での質問の答弁で、えがおの丘の譲受者がいないときは、閉鎖になるとの答弁をしている。市としての、体育施設としての温泉プールのあり方、方向性を伺う。また、利用者に対しての理解と納得をどのように得るのか改めて伺う。

平成29年6月定例会日程予定【会期17日間】

- **本会議** 午前10時開会予定です・傍聴できます ——
- ◇6月5日（月）〔開会〕市長所信説明、議案審議 ほか
 - ◆6月12日（月）一般質問
 - ◆6月13日（火）一般質問
 - ◆6月14日（水）一般質問
 - ◇6月21日（水）委員長報告、採決 ほか 〔閉会〕
- 傍聴席は本庁舎7階です —

- **委員会** ——
- ◇6月5日（月）一般会計予算特別委員会
 - ◇6月15日（木）～16日（金）常任委員会
 - ◇6月21日（水）一般会計予算特別委員会

※進行状況により、日程は変更になる場合があります。

横手市のホームページにあります、
議会のコーナーをクリックしてください。
本会議録画・会議記録・市議会だよりを
いつでもご覧いただけます。

◇ 横手市議会事務局 ◇

〒013-8601 横手市中央町8番2号（横手市役所 本庁舎 6階）
TEL：0182-32-2535 FAX：0182-32-6539
E-mail：gikai@city.yokote.lg.jp

横手市議会マスコットキャラクター

“しらとり議員”

